

事象関連脱同期／同期を用いた反応抑制に関する脳活動評価

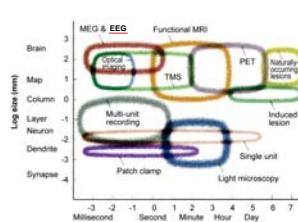
高寄正樹（日本大学生産工学部教養・基礎科学系）

目的・背景

- ヒトの運動や行動は中枢神経系(脳・脊髄)の働きによって制御されている。
- 脳機能研究は、医療、福祉、教育、経済等の分野に対する貢献が期待される。
- 脳波(EEG)は時間分解能が高く、さまざまな解析法が用いられる。

- 事象関連脱同期／同期(ERD/ERS)は、比較的容易に求めることができ、ブレインマシンインターフェイス(BMI)の信号源としても利用される。
- ERD/ERSを指標とした反応抑制に関する脳活動評価のBMIなどへの応用をめざす。

「脳機能計測法」



非侵襲的脳機能計測法

- 脳波(EEG)
- 脳磁図(MEG)
- 機能的磁気共鳴画像法(fMRI)
- 陽電子放射断層撮影法(PET)
- 単一光子放射断層撮影法(SPECT)
- 近赤外分光法(NIRS)

EEG(脳波)の特徴

- 時間分解能が高く、ミリ秒オーダーで脳機能を評価できる
- 空間分解能が低い

EEGの主な解析方法

- 事象関連電位(ERPs)
- 高速フーリエ変換(FFT)
- コヒーレンス解析(Coherence)
- ダイポール推定(Dipole)
- 事象関連脱同期／同期(ERD/ERS)

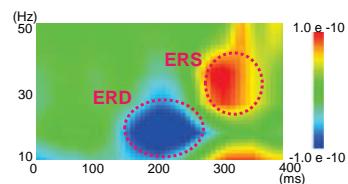
EEG周波数成分

- シータ(θ)波：3-8 Hz
- アルファ(α)波：8-13 Hz
- ベータ(β)波：13-30 Hz
- ガンマ(γ)波：30-70 Hz

「事象関連脱同期／同期(ERD/ERS)」

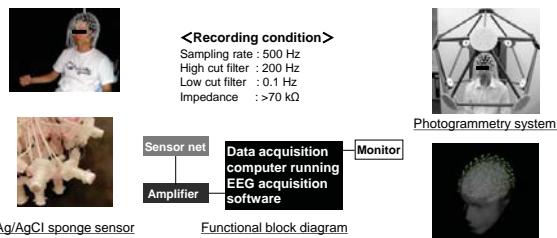
- ある脳機能に関連して、一定の周波数律動のパワーが減少(脱同期:ERD)または増加(同期:ERS)する現象

ERD ⇒ 大脳皮質活動の亢進
ERS ⇒ 大脳皮質活動の不活性

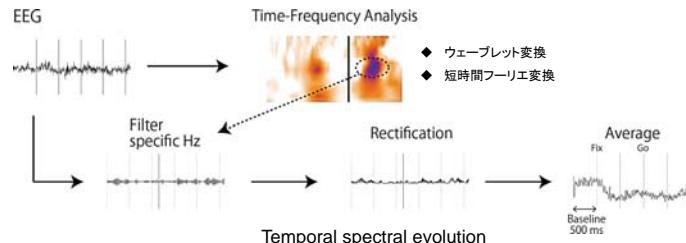


原理・方法

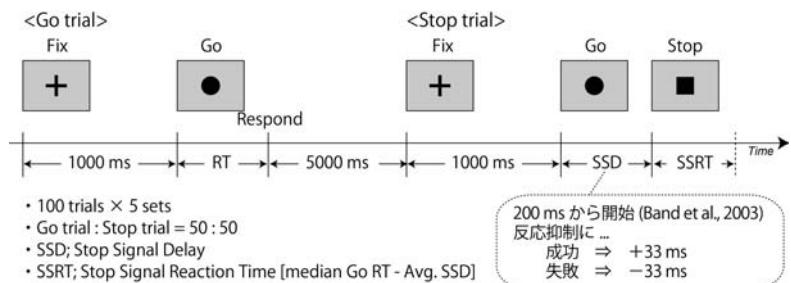
「EEG記録方法」



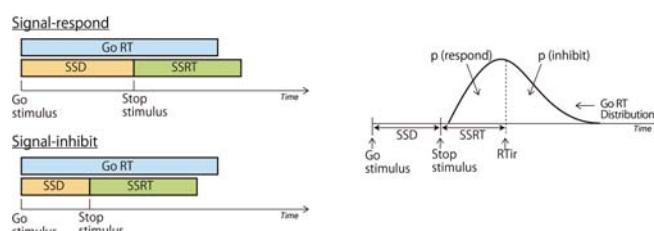
「ERD/ERS解析方法」



「ストップシグナル課題」



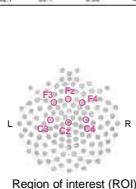
「レースモデル」



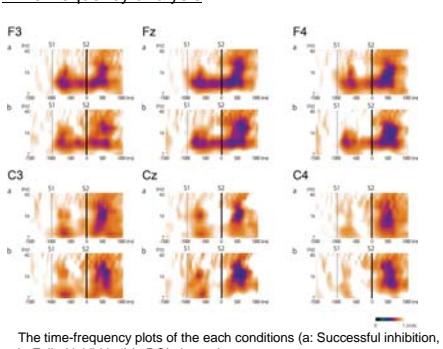
結果・まとめ

Behavioral data

	Go RT (ms)	Errors (%)	SSD (ms)	SSD (ms)	p (inhibit)	Failed stop RT (ms)
Mean	450.2	2.8	279.6	173.6	0.52	381.4
SD	43.8	3.3	32.7	59.1	0.08	43.1

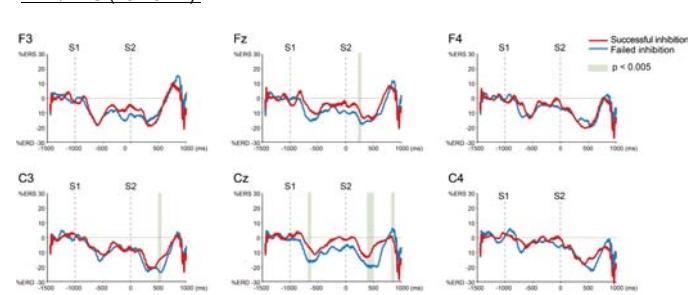


Time-frequency analysis



The time-frequency plots of the each conditions (a: Successful inhibition, b: Failed inhibition) in ROI electrodes.

ERD/ERS (13-20 Hz)



The time course of averaged beta 1(13-20 Hz) power changes in ROI electrodes.

応用分野・用途

- ERD/ERSもしくはEEGデータのBMI、BCIなどへの応用
- BMI、BCIへの応用を見据えた、より簡易な脳活動計測、ならびに解析方法の開発

- EEGを利用した抑制機能以外の脳機能評価
- fMRI、TMSなどEEG以外の抑制に関する脳活動評価



日本大学産官学連携知財センター (NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館
Tel: 03-5275-8139 Fax: 03-5275-8328 E-mail: nubic@nihon-u.ac.jp http://www.nubic.jp

